

敬和学園大学と地域社会を結ぶコミュニケーション誌

KEIWA

COLLEGE REPORT



第21号

〈JAN 2000〉

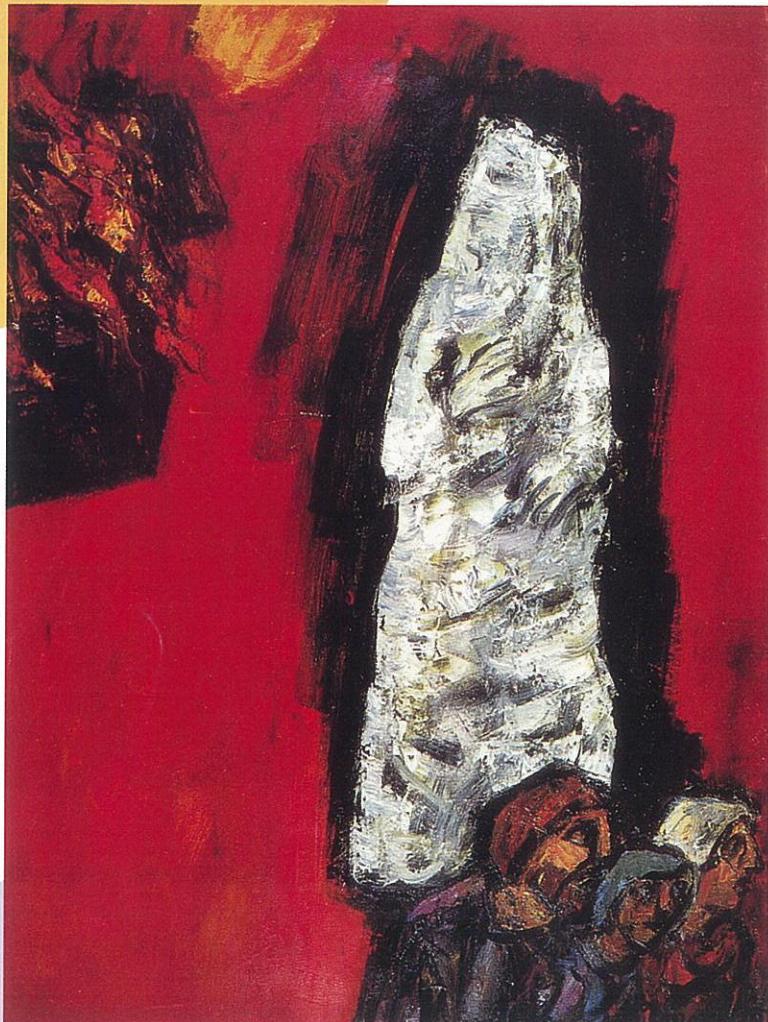
発行/敬和学園大学広報委員会

敬和祭／新発田市公開講座報告

座談会／留学生多いに語る／海外留学レポート

CLOSE UP 諏訪神社祭礼調査顛末記

神田より子



ゼミ紹介／第八回大学リトリート報告

就職相談室より

教員採用 新潟県に二名内定

クラブ紹介／韓国からの訪問客

2000年度入試のご案内

2000

毎年クリスマス・ツリーは校舎正面（写真左）と、オレンジホール・アネックス脇に飾ります。今年はいつもよりも多くの電球を使って美しく輝いていました。

写真右は、燭火礼拝で聖歌隊が讃美歌を歌っているところです。昨年の聖歌隊は合唱部と有志による編成で、新潟教会からガウンを借用しました。蠟燭の火が、幻想的な世界を映し出していました。



もくじ

諏訪神社祭礼調査顛末記	神田より子	1	クラブ紹介	荒井宏子	10
〈座談会〉			韓国からの訪問者	山田耕太	11
留学生多いに語る		4	2000年度入試のご案内		11
海外留学レポート	樗沢真吾	6	最終講義ご案内		12
ゼミ紹介	安藤司文	6	退職される先生を送る会のご案内		12
1999年度敬和祭	久島公夫	7	クリスマス行事報告		12
第8回大学リトリート報告	延原時行	7	卒業生の皆さんへ		13
新発田市公開講座報告		8	感謝	加藤聰子	13
就職相談室より		9	寄付者ご芳名		13
教職課程を振り返って			学事予告		13
酒井武志		10			

〈表紙〉田 中 忠 雄「塩になった口トの妻」



諏訪神社祭礼調査顛末記

教 授 神 田 よ り 子

あうことのむずかしさとおもしろさ、人々が造り上げてきた地域文化の奥深さを、身体で感じ取つてほしいというねらいからである。

新発田の祭り調査に至るまで

毎年ゼミの演習で調査を行つてきた。佐渡の真野町、金井町、村上市の岩船地区、そして去年は岩手県宮古市だった。最初の一~二年間は、ほぼ強制的に学生を連れていたが、その後は調査をするかもしれないか、学生の希望を聞いて行つようにしてきた。もつともそういう方向に誘導尋問をしてきたような節は大いにあったが：

文化人類学、民俗学というテーマで学生が私のゼミを選んでくれたのだから、この学問のおもしろい部分を少しでも味わってほしいと思い、続けてきた。それは、調査地で地元の人たちと仲良くなり、人とつき

今年も調査の希望を聞いたが、お金がないという学生が多くいた。しかし地元新発田市内出身者が三人いた。これは新発田の祭礼調査ができるチャンスである。前からねらつていたテーマだつたし、今までには人數が揃わないという制約があった。だが今年は総勢十九名の大所帯である。それに新発田市なら宿泊費がいらない。

早速六月からサブゼミが始まつた。皆で『新発田市史民俗編(上下)』を資料と決め、毎週輪読した。一方、誰がどういう役割を持つて地域に入るかも決めた。早いうちに地域の方々にお目にかかり、了解をいたく必要があるからだ。こういうときお世話になるのが新発田市役所の鈴木秋彦さんである。新潟県民俗学会の世話役であり、地域の文化に詳しい鈴木さんは、いつも何かあると教えて貰つている。そして今回も関連資料をコピーして貰い、挨拶するべき方々に引き回して貰つた。また新発田市

観光開発公社の渡辺局長には、祭りに携わる方々を紹介していただき、学生たちはそれを見つかけに地域に入った。そして諏訪神社宮司は自ら何度もお話ををして下さった。

学生たちは神社班、台輪班、旧職人町が主催の獅子舞班に分かれた。台輪は泉町、両町、上町、下町、三の町、四の町の六旧町から出るが、今回は人數の関係で、両町台輪、上町台輪、三の町台輪の調査が決まつた。こうして各班は担当地域に行つて挨拶をし、会合に参加し、練習にも加わるなど、夏休み前から彼らの活動は始まつた。また共通の方法論を持つために、米山俊直著『祇園祭—都市人類学ことはじめ』(中公新書 一九七四)を選び、夏休みのレポートにした。これは祭りの由来や古い形式の伝承を探るという方法ではなく、祭りの過程を軸に、それを支える人々の文化、社会のシステムを追求するという方法に則つた本である。私は都市人類学というより、町の文化として祭礼を取り上げようと思つた。地域の方々がどういう関わりで祭りに参加しているのか、祭りがどのように人々

CLOSE UP

に受け入れられ、変化していくのかを探りたいと考えた。学生たちは夏休み前からすでに地域に入つて調査を始めていたので、この本の主旨を自分の問題として受け止めてくれた。そして各自が自分のテーマに添つて読んでくれていた。

学生たちの調査顛末記

これから書くことは、学生たち自身による調査の中間報告である。まだ足りない部分もあり、報告書と書くにはほど遠いため、顛末記とした。しかし彼らの情熱と、面白がつて参加してくれた気持ちはこもつてい

諏訪神社の祭礼

諏訪神社は、神社に伝わる由緒によると、大化四年（六四八）に現在の聖籠町諏訪山に鎮座したという。その後、新発田重家が現在の新発田市中曾根に遷座、そして慶長年間に初代藩主溝口秀勝公が城内古丸に遷座、その後、寛永十五年（一六三八）に三代溝口宣直公が鍛冶町に、元禄元年（一六八八）に四代溝口重雄公が泉町に、宝暦六年（一七五六）に七代溝口直温公が現在の社殿を建立遷座されたという。新発田藩王が代々直接遷座に関わった、由緒ある神社であることがわかる。

諏訪神社の祭神は諏訪大明神として龍とも伝えられ、水を必要としてきた農家の人々をはじめ、地域の信仰を集めてきた。また祭神としての建御名方命は軍神としての性格をもち、それ故武家の守護神ともされてきたのだ。

神社の祭礼は、八月二十五日の夜十時に



諏訪神社拝殿にて神子によるお祓い

御靈を神輿から神社本殿に環座して、一連の神事は終了する。

職人町の獅子舞

次に諏訪神社祭礼における職人町の動きを見てみよう。二十八日に神輿が町内を巡幸する際には、獅子が先導し、各旅所では獅子舞を舞う。二十七日は職人町の獅子舞の流れを汲むとされる中曾根の獅子が廻る。この日の夜、台輪渡りに先立ち、三の町、四の町の役員が挨拶に来る。本来は台輪を出す全町から挨拶に来ていたという。二十八日は宮入行事に参加するため、通り囃しを鳴らして神社まで行く。これは帰り台輪の時間だが、台輪の参加者たちは祭りの中心的な役割を担つていた職人町の人々に敬意を表し、通り過ぎるのを拍手で送る。二十九日の宮入行事の時には職人町の人々が神輿を担ぐ。今年は二十三周して宮入となり、終了は午前二時二十分だった。

職人町の歴史は歴代藩主と共にあった。元禄元年（一六八八）の城の増設により、諏訪神社が現在の泉町に遷座となつた。それに伴い鍛冶町も現在の御幸町に移り、職人町となつた。職人町の人々は火事の時に

諏訪大神、溝口大祖神の御靈を神輿に移す御分靈移御式（御靈移し）から始まる。二十六日、二十七日の両日かけて神輿が町内を巡幸する。二十八日は例祭式、夜には新

発田まつりパレードに溝口大祖神の神輿が参加する。二十九日には溝口家名代、各団体長の参拝、大祖公例祭と続く。この日の行事は大正初期から始まつた、比較的新しいもので、川東地域の人々にも祭りに参加して貢うようにとの配慮があるという。またそれ以前には台輪も神輿について町内巡幸に廻っていた。夜十一時頃になると、職人町の若衆による宮入れ、真夜中の二時頃になつてようやく諏訪大神、溝口大祖神の御靈を神輿から神社本殿に環座して、一連の神事は終了する。

CLOSE UP

はどこへも出入りができた、藩の火消し役としての歴史をもつ。こうした溝口家との関わりから、家紋を与えられ、今も獅子舞の衣装や道具に溝口家の裏紋の井桁菱をつけている。また藩主から祭りを始めるよう奨められたとされ、祭りの主催者としての意識がある。だからこそ台輪の各町の役員は職人町に挨拶に来ているのだ。



台輪

六台の台輪はマチの人たちのものであり、近世期にも武士が台輪に出る事はなかった。台輪の組織は各町内会長が最高責任者となり、その下に町内の各役員や頭取を経験した台輪保存委員が位置している。台輪と直接関わるのは、頭取、副頭取、小頭、総取締、取締で、その下に若者たちが加わるというピラミッド型に構成されている。

職人町の人々による獅子舞お旅所廻りでの悪魔祓い



帰り台輪のあおり

現在各町の台輪の組織が直面しているのは、以下の三点である。まず台輪を維持してゆくのに資金が足りない。新発田市から援助金があるが、これも六町内で分配するので、毎年の修理費にも追いつかない。次

台輪に参加できるのは高校生からであり、彼らが経験を積んでやがて頭取になる。祭りの前には台輪の組立を行い、法被の引き渡しがあるが、現在も祭りごとに台輪を組み立てているのは上町だけである。台輪の曳き回しに先立ち、二十六日の午後から各町内の曳き回しがあり、この時は小さな子供が主体的に参加する。二十七日は早朝五時から奉納台輪である。そして祭りのクライマックスである台輪は二十九日の夜六時から始まる。

台輪に参加できるのは高校生からであり、彼らが経験を積んでやがて頭取になる。祭りの前には台輪の組立を行い、法被の引き渡しがあるが、現在も祭りごとに台輪を組み立てているのは上町だけである。台輪を組み立てているのは上町だけである。台輪の曳き回しに先立ち、二十六日の午後から各町内の曳き回しがあり、この時は小さな子供が主体的に参加する。二十七日は早朝五時から奉納台輪である。そして祭りのクライマックスである台輪は二十九日の夜六時から始まる。

十 分 い る が、他 の 町 内 で は 曳 き 手 が 足 り な い と こ ろ も あ る。ま た 台 輪 の 意 味 を 理 解 し て い な い 者 も 多 く、責 任 者 の 言 う こ と を 無 視 す る 者 が 増 え て き て い る。さ ら に 修 理 を 頼 む 職 人 が 減 少 し て お り、や が て は そ う し た 専 門 の 技 術 者 も い な く な り、京 都 ま で 頼 む 日 も 遠 い こ と で は な い と 言 わ れ て い る。そ し て 初 め の 問 題 と も 絡 ん で く る が、觀 光 化 の 傾 向 に つ い て で あ る。實 際 に 祭 り を 担 う 人 た ち は 伝 統 的 な 「諏 訿 神 社 祭 礼 」 と し て 自 覚 と 誇 り を 持 っ て い る。こ れ は 神 事 な の だ と い う こ と と、伝 統 を 大 事 に し て ゆ き た い と い う 気 持 ち が 強 い。し か し 「新 発 田 ま つ り」 と し て 觀 光 化 し て ゆ く こ と に よ つ て、觀 光 客 を 呼 び、そ れ が 不 足 す る 資 金 を 補 う こ と に も な る。資 金 不 足 で 各 町 内 が 頭 を 悩 ま せ て い る。現 在、時 代 の 趨 勢 と は 言 え、觀 光 客 の 增 加 を す な お に 喜 べ な い の も 現 実 で あ り、今 後 の 「祭 り」 の 行 方 は 矛 盾 を は ら ん だ も の と い え よ う。



本学には今年度、一年生に中国から一名、二年生に三名（中国二名、韓国一名）、三年生に韓国から一名、四年生に韓国から三名の合計八名の留学生が国際文化学科に在籍しています。

一時期より留学生の数は減少していますが、みんな一所懸命勉強に励んでいます。

今日は留学生座談会を企画し、日本の大学で勉強してみて感じたこと、敬和に期待することなどを語ってもらいました。

出席いただいたのは、四年生の朴宰德さん、二年生の李華穎さん、一年生の何為民さん、そして進行役は国際交流委員長ジエイムズ・ブラウン先生です。

ブラウン 今日はよろしくお願ひします。

まず、簡単に自己紹介をお願いします。

朴 私は韓国のソウルからきました。両親はイギリス、香港と貿易をしています。自分の性格ですが、優しくて、最後までやりとおす性格です。

李 中國の北京出身です。父は法務省に勤め、母はバレリーナでしたが、私が生れて辞めてしましました。兄はアメリカで弁護士をしています。明るい時と暗い時と二重性格的なところが私にはあるかも。

何 中国の内モンゴルから来ました。日本語は、会話は大丈夫だと思っていましたが、勉強で使う日本語は大変です。性格は明るくて優しいでしょうか。

ブラウン 入学前は日本語をどこで勉強しましたか。

朴 新潟市の日本語学校で一年勉強しました。

李 北京の大学で勉強しましたが、さぼつてしまい、結局、朴さんと同じアップル外語観光カレッジで一年ほど勉強しました。

何 研修生として佐渡に二年間滞在しました。帰国してから、また日本に来るまでに半年日本語を学びました。

朴 過去の歴史からいきなればならないと思うようになります。そのため努力したいと思っています。

李 子供の頃テレビで日本の新しいロボットや着物を見て、いいイメージを持つていました。ところが日本へ留学した知人の話では人種差別があるからと、日本へ留学することを止められました。たしかに差別はあるけれど

ど、まわりには親切な人がたくさんいます。

ブラウン なぜ敬和を選んだのでしょうか。大學の勉強で特に思うことはありますか。

朴 コンピュータの勉強がしたくて日本の専門学校に入学しましたが、韓国で学んだことの繰り返しだったので、大学で勉強したいという気になりました。友人がちょうど敬和の四年生だったの、大学の話を聞き、決めました。勉強では、歴史など韓国で習ったのは違うので戸惑いました。でも、視点を変え

てみることの大切さを学びました。私はクリスチヤンではありませんが、ボーアフレンドが北京の教会に通っていたので、キリスト教について、もつと知りたいと思いました。私も歴史については、二十年間中国で習ったのとは違うのでとても驚きました。真実を知りたくて、色々本を読みました。歴史観の違いだと思いますが、一方の価値観を押しつけられることが多いです。

朴 それでも日本は意見の多様性を許していると思う。韓国だったら、体制と違う意見を言えば、ものすごい反発を受けるから。

ブラウン でもアメリカと較べれば、日本の新聞は多様性に欠けていると思う。どこと比較するかにもりますね。

何 私の場合は、今回日本に来る前に日本語を習った先生が、新潟大学の留学生だったんです。私の語学力から新大は無理だから、敬和を勧められました。今、自分の好きな科目を勉強しています。歴史学、社会学。文化人類学を学ぶのは初めてで、民族について意識しました。もっと民族について深く勉強し

いに語る



座談会 留学生多



つた人に助けを求める

めると、自分の家へ連れて行つてくれ、トラックからガソリンを移して

くれました。家に帰れる量でいいと

言いましたが、満

タンにしてくれま

した。それから道

に迷つてしまつて、家にたどり着いたのは夜

中の十二時半。満タンにしてもらわなければ、

また困つたことになつていていたでしょう。涙が

出るほど感動した体験です。ひとの親切に資

本主義も共産主義も関係ありません。

朴 敬和にもつと留学生がふえて欲しい

いと思うのですが。何かいいアイデアありますか。

朴 もつともっと宣伝する必要があると思います。

李 敬和に留学生がいることも知られていないように思います。

朴 留学生がふえて学生寮ができるといいで

すね。今家賃が五万円、通学費一万円です。

李 新潟市に住んでいるのも、お金を稼ぐために

アルバイトがしやすいからです。

朴 学生寮というのはいいね。アルバイトで、

留学生同士で話をする時間がありません。留学生同士の会話はストレス解消になるけど、日本人学生と話すと少し疲れます。

李 こちらが学費や生活のためにアルバイト

しているのに、親から車買つてもらつた、な

んて言うんだもの。

朴 まず経済的バックアップ・システムがし

なると思います。

何 私は新潟大学前に住んでいて、新大の留学生を知っていますが、敬和のことを知らないので驚きました。新発田は遠いと思ってるみたいです。

朴 姉妹都市を通じて当地の日本語学校と姉妹校になつたらどうでしようか。

李 私の場合のように、大学説明会もいいと思います。学費と施設だと新大に目が向きます。ただ、新大は日本語能力試験一級合格を要求します。新大以外だと、学費の減免制度がある新潟産業大学が人気です。

朴 新潟県は大学の数が少ないので大学説明会はみんな熱心に聞くんじゃないでしょうか。大学を決定する十一月上旬あたりがいい時期だと思います。

何 学費の問題も大切だけど、敬和は人文学部なんだから、何が勉強できるか伝えたいと思う。新潟産業大学には経済学部があるから、日本の経済を勉強したいと思っている留学生が多いと思います。

朴 国際文化学科という名前だけではつきりしないので、具体的に、経済も法律も勉強できることを宣伝する必要があると思います。

朴 きょうは色々なご意見ありがとうございました。

(敬称を略させていただきました)



海外留学

レポート

ドイツ異文化体験

国際文化学科二年

橋沢 真吾

私は昨年九月にドイツ、主に南ドイツを旅してきました。リュッケ一つでの一人旅。いろいろ不安もありましたが、少しの勇気を持てば世界が、視野が広がるだろうし、決して上手とは言えないけれど、自分のドイツ語を試したいという考えもあって決めました。まあ、行けば行つたで何とかなる、といういささか無鉄砲な考えも手伝つて。私は、事前にほとんど旅行計画を立てていなかつたので、行き当たりばつたりで、さまざまな場所をその日その日で宿を取りながら旅しました。空港のあるフランクフルトをふりだしに、世界に誇る大聖堂がそびえるケルン、ベートーヴェンのふるさとボン、中世の面影が残るローテンブルク、帝国都市アウグスブルクなど、十二の都市を訪ねました。旅行を続けるうちに、およそ一日のスケジュールが決まっていきました。前夜に翌日向かう町を決め、当日の午前中に移動し、午後早くホテル探しをして荷物を預け、それから市内見学という形を目的としていました。その町の雰囲気がよかつたり、親切な人にめぐり合つて、滞在を延ばして一泊することもありました。

ある町で、同じ一人旅の日本人男性と知り合い、ソーセージを食べ、ビールを飲みながら、旅のノウハウや人生観を詳しく聞いたことが印象に残っています。その後、彼はメキシコへ無事にたどり着いたでしょうか。旅行中は長いと感じた十七日間も、終つてみればたった十七日。危ない目に遭つたり、歩きすぎて靴底がはがれドイツの青年たちに同情されたりしましたが、何気なく話しかけられたり、笑顔で迎えられたりしたことが、今はとても嬉しい思い出となつています。言葉の壁も、こちらに考え方伝えたいという意志があり、理解しようとすると気持ちが相手にあれば、存在しませんでした。この旅をきっかけに、もっとドイツ語に磨きをかけ、建築様式の歴史について知識を深めて、今度はもっと長くドイツで勉強したいと思うようになりました。



ヴェルツブルク市のレジデンツ(宮殿)

ゼミ紹介

国際文化学科教授

安藤 司文

コンピュータがごく身近な存在になつてきました。文字情報だけでなく、動画を含めた画像情報や音情報など、ありとあらゆる情報がコンピュータで処理できるようになつてきました。このセミではコンピュータを自由自在に操作できることを当初の目標にしていますが、コンピュータが単なる知的な道具としてではなく、人間の知的な活動を支援するシステムであると認識したほうがよいのではないかと考えはじめました。そこで、インターネットを含めてネットワークコンピュータを学生たちの知的活動支援システムととらえて、いろいろなテーマを学生に与え、実際にコンピュータを通して、学生の知的な能力の向上を図っています。

まず、コンピュータの基本的な原理や動作を理解させるために、コンピュータを自分で組み立てるこことを推奨しています。さらには、学生各自のテーマをインターネットのサーチエンジンを使って検索し、収集させます。発表用の資料作成、論文の作成、討論、情報交換などもできるだけネットワークコンピュータで行わせてています。

各自が作成した論文、レポート、発表資料はなるべくネットワークコンピュータ上で公開し、ほかの学生にも自由に閲覧できるようにしています。これで、学生同士の議論が活発に行われることを期待しています。

一九九九年度 敬和祭

学生部長 久島 公夫

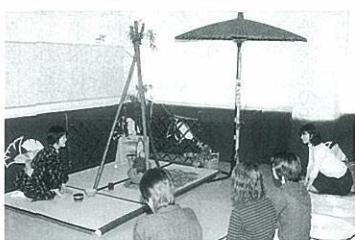
きつけました。

去る十一月六日、七日、素晴らしい秋晴れのもとで第九回敬和祭が開催されました。終始和やかな雰囲気に包まれ、来場していただいたたくさんの方々にも気持ち良い一時を過ごしていただけたかと思います。広場ではいろいろな屋台が立ち並び、祭りの雰囲気を盛り上げていました。チアリーダー部の演技、ブラスバンド部の演奏、手話サークルの手話



二十数人の小学生に一人ずつ賞状と賞品が手渡されました。この企画は、敬和学園大学を近隣地域の人たちに知つてもらうために非常に大きな力になると信じています。今年度は多くのサークルや一般学生の参加がありました。大学全体の活力は学生諸君の活気によく、チアリーダー部の演技、ブラスバンド部の演奏、手話サークルの手話

最後になりましたが、敬和祭のために多大なご援助を賜りました協賛企業各位、ご来場いただいたたくさんの方々の皆様に深謝申しあげます。また、ご支援、ご協力をいたしました後援会、オレンジ会の皆様、本学教職員の皆様に厚くお礼申しあげます。実行委員諸君、本当にご苦労様でした。今回の成功や失敗の経験を生かして、さらに充実した敬和祭を創つてください。



第八回 大学リトリート報告

宗教部長 延原 時行

第八回大学リトリートにあたり、私は学生たちに「在学中のいい思い出を作りなさい。それには、リトリートで北垣学長の『学長大いに語る』を聞くことである。それを胸に就職戦線に臨みなさい」と呼びかけました。例年のように、会場は新潟県下越スポーツハウス（黒川村胎内）。学生十四名と教員五名は、十一月十二日（金）の夕食の鍋とともにつつくことから合宿研修を始めました。経費は安いのに食事は悪くありません。そのあと開会式は延原宗教部長の説教「創造的自由」。一日目の焦点は、永野教授の講話「マルティン・ルターは『キリスト者の自由』で何が言いたかったのか」でした。今年度はこのテキスト（四十七頁分）を全員が持ち、永野先生の懇切丁寧な解説のもとにじっくり勉強しました。気がついたら十二時すぎ。「キリスト者は自由な君主にして、すべての人の僕である」という逆説に酔つて討論に時を忘れました。茶菓を喫しつつ。早天札押は矢嶋講師「弱さにおいてあらわれる恵み」。これもキリスト教信仰の逆説の真骨頂。そしてくだんの「学長大いに語る」です。一九八〇年代の北越学館（教頭 内村鑑三）の失敗から初めて、敬和の苦悞に満ちた開学の経緯まで滔々と開陳、しめて二時間。あるいは笑い、あるいは涙ぐみ、敬和の今日ある恵みと共に感謝しました。締めは山田教授「自由と奴隸」（ガラテヤ五一）。ランチのあとハウス送迎バスで胎内の紅葉のなかを嬉々として帰つてきました。

新発田市公開講座報告

本学では、毎年五月に聖籠町で、九月に新発田市で公開講座を開催し、多くの皆さんに参加していただいています。新発田市の公開講座は開学以来毎年行われ、本年度で九年目となりました。本年度は、九月十七日から十一月五日まで毎週金曜日に新発田市生涯学習センターで行われました。総合テーマは「二つの世纪末」で、テーマと講師陣は下記のとおりです。

受講生は、七十一名で、年齢層は五十代、六十代の方が五十一%で過半数を占めます。居住地別では、新発田市在住の方が七十九%を占めますが、市外からは、新潟市や農栄市、豊浦町、紫雲寺町などからの受講者がいました。懐中電灯を手に持つて徒

歩で通われたり、遠方からタクシーでこられる方もいました。今回は例年に比べ天候にも恵まれ、雨に降れることはありませんでしたが、九月二十四日の講座は、大型台風が接近し、暴風吹き荒れる中、受講されるなど、皆さんとても熱心でした。

本年度の内容は、文学、経済など、多岐にわたり、難解なものもありましたが、ビデオや書画カメラを利用し、講演だけよりもわかりやすく、受講生の方からも好評を得ることができました。

受講生に記入をお願いしています日誌やアンケートには、本講座に対する感想、ご意見、ご要望などが多数記入されていました。特に第五回目の昨年四月に就任した房先生の講座について、「中国について、興味が沸き、一度行ってみたいと思いました。」「日本語がとてもやわらかできれいでした。日本女性として少し反省させられました」と書かれています。

アンケートの集計結果からは、今回の講座が「難しかった」と回答している方と「やさしかつた」と回答している方と同数で四十一%でした。また、八十四%の方が、「興味を持った」と回答してくれています。「専門的に研究されたエッセンスを直接話していただけるのがとても魅力です」というメッセージもありました。最終日の講座終了後行われた閉講式では、八回の講座を全て出席した十二名の方に、学長から修了証が授与されました。



とき	内 容	講 師
9月17日	二つの世纪末 – 英文学の場合	敬和学園大学長 北垣宗治
9月24日	19世纪のポンド、20世纪のドル、21世纪のユーロ	教 授 大海 宏
10月 1日	「100年後の決算」明治期日本の近代化 – 科学史の立場から	助教授 西村秀雄
10月 8日	日本文学にみられる二つの世纪末	客員教授 若月忠信
10月15日	半封建・半殖民地経済から改革開放・市場経済への中国	助教授 房 文慧
10月22日	フランスにおける世纪末	助教授 佐藤 渉
10月29日	19世纪末ドイツの国家と社会	助教授 岩倉依子
11月 5日	19世纪末アメリカの悪夢	教 授 松崎洋子

就職相談室より

一九九九年度保護者との就職懇談会

去る十月九日（土）、新潟市内のホテル

において、三年次生の保護者を対象に『一九九九年度保護者との就職懇談会』が開催され、学長はじめ教員二十二名と保護者八十余名の方々が参加されました。第一部では、まず斎藤就職委員長から、今年度の就職環境は極めて厳しく、これは来年度も続くものと覚悟し、できるだけ早い段階から卒業後の進路を考え、準備を開始することが必要であることが強調されました。また、本学としても様々な指導を行つてはいるが、それ以上に保護者の方々からも進路や就職の問題についてご理解いただきとどもに、学生の一番身近な社会の先輩として良き相談者にもなつていただきたいとのお願いがありました。続いて、益谷教職課程委員から、新潟県における教員採用試験の現状と本学の教員採用試験への取り組みについて説明がありました。最後に石田就職相談室長から、今年度の就職状況、さらには最近の企業の採用活動の変化を踏まえた本学の就職指導の内容説明が行われました。まとめとして、学生自身が「やる気」を持つ行動し、何よりも「自己分析」と「企業研究」をしっかりと行うことが必要であることを強調して、第一部を終了しました。

第二部の懇親会は、石井後援会長の挨拶・乾杯の発声で始まり、教員と保護者の方々との自由な懇談を通して、学業成績や就職活動などについて充分に意見交換のいた有意義な一日でした。

三年次生がこれから迎える厳しい就職戦線に対し、大学としては一人でも多くの学生がより満足度の高い就職ができるよう、万全を期することはもちろんですが、保護者の皆様からもより一層のご支援とご協力をいただきたくお願い申しあげます。

企業との就職懇談会

恒例の「企業との就職懇談会」が、去る十一月十九日（金）、新潟市内のホテルで開催されました。業務多忙のなか、企業側からは八十二社九十名の人事担当者、大学側からは北垣学長はじめ教職員約三十名が出席しました。

まず、北垣学長が挨拶に立ち、本年度の採用のお札を述べるとともに、本学の過去の実績や就職に対する取り組みなどを企業の皆様にご理解頂きたくと強く訴えました。続いて、本学の斎藤助教授（就職委員長）が「歴代アメリカ大統領を格付けする」と題した講演を行いました。一九九六年にアメリカで有識者を対象に実施された調査に基づき、偉大な大統領として評価される条件や個々の大統領の業績などを紹介する熱のこもったものとなりました。また、来年度さらに厳しい就職戦線を迎える現三年次生に対しても本年度に引き続いての採用をお願いして第一部を終了しました。

第二部では、新潟、新発田両商工会議所からの祝辞、本学後援会の石井会長の乾杯のご発声で懇親会に移り、参加企業の人事担当者と就職委員および教職員の間で今後の就職問題などについて活発な意見交換が行われました。その後も和やかな懇談が続き、来年度の就職に向けて大きな弾みがついた懇談会でした。

今年度の就職戦線は、昨年度の「超氷河期」以上に厳しいものとなりました。今年度は昨年度に比べ求人件数が激減しただけでなく、募集職種が限られ、また採用人数も減らされる傾向にありました。特に一般事務職の求人は皆無に近く、ほとんどが営業職といった状況です。これは、企業が将来の管理職に成長する人材を求めているからです。営業職・販売職等は、将来企業の中心人物となるためには避けて通れないものであり、この点において学生諸君の意識改革が必要です。また、企業の採用活動は一段と長期化が進みました。これは採用人數確保のための長期化であるばかりでなく、厳選のための面接回数の増加や、入社意志確認のための長期化もあります。これは、生産性の高い仕事ができる優秀な学生を採用したいという企業の考えによるものです。



来年度は、さらに採用活動が早期化し、厳選採用が進むことが予想されます。学生諸君は早めに自己分析を完了し、企業研究のための資料請求が早めにできるよう準備をしてください。

就職状況中間報告

今春卒業生新潟県に一内定

教員採用内定おめでとう！妙高の山小屋で、仲間と熱く語り合った教職への情熱と理想を失わずに、二十一世紀を担う子どもたちの成長を支援してあげてください。

『豊かな心とたくましく生きる力』でしたね。

教職課程を振り返つて

英語英文学科四年

酒井 武志

「教職をとつて本当に良かったなあ」という声が私たち四年生の間で出てきています。私自身も敬和の教職課程をとつて良かったたし、誇りに思っています。二年次から始まった教職課程ですが、私たちは様々な経験をすることができて、心身ともに成長したと実感しています。辛くもありましたが、それ以上に楽しく有意義でもありました。

辛かつたことと言えば、教職教科の一つである「教育の方法・技術研究」です。毎回授業で行なわれるミニテストは中学校の教科書の内容から出題されるのですが、実際やってみると意外に解けないことに気付き、正直言つてみんな何度も落ち込みました。これができなければ、単位取得はかなり難しいのです。英語教師になるためには、当然、中学校の英語はできて当たり前でなければなりません。本当に教師になれるのかなあ」と思った人も少なくありません。でも必死になつてみんな頑張りました。その気持ちこそが大切だと分かり、そのおかげで今の私たちがあると思っています。

樂しかったことと言えば、妙高合宿。みんなで料理を作つたり、テントで寝たりしました。また班ごとの発表会や討論会において、人間関係づくりの大切さを学び、また私たち



たよ」と好評でした。

私たちが本当に感謝していることです。これも敬和の先生方、事務の方々、教職教科の先生方すべての

課程は英語教師になるための最高のプログラムを提供してくれました。甘い気持ちではこのプログラムは乗り切れません。でも、乗り切れ

自分が今何をすべきかが見えてくると思います。敬和の教職課程は私たちにはよい刺激となりました。また人生のすばらしい宝物になりました。

一人ひとりに自主性が出てきたような気がします。全体的には、教師にあるべき心構えの再確認をしっかりとることができました。

私たちが本当にすばらしく思ったのは、敬和の教職課程の教育実習生に対する準備の良さです。三年次から授業の指導案作成、模擬授業、そして授業反省会と、みんなで助け合いながら自分自身を高めていました。また、

リスニングの授業に参加して、外国人の先生方のアシスタントをしたり、先生の代わりに英語で授業をするなど、私たちはとても効果的でした。実際に実習へ行き、他の大学からの実習生と比べても、本当に敬和が教職課程に力を入れていることを実感しました。実習校の先生方からも「敬和の実習生は良かつたよ」と好評でした。

「茶道」というと決まりごとがありますが、みな

ごく堅苦しいイメージがありますが、みな和氣あいあいと、とても和やかで落ち着いた雰囲気の中でお稽古をしています。

昨年の夏にはボランティアとして、老人ホームでお茶会を開きました。また、大学の「ふれあいバフェティ」ではお茶をふるまいました。十一月の学園祭でのお茶会は、無事成功裡に終わることができましたが、その二週間後には学生交流茶会が開かれ、そのためのお稽古を一生懸命行いました。

茶会が予定されていないお稽古では、主に礼儀作法を教わっています。茶道というの

は、お茶のたて方だけではなくお道具の大

切さ、お客様に対する心使いの大切さ、水

屋(裏方)の仕事の有難さ、熱心に、親切

に教えてくださる先生方の有難さなどを感じ、かつ学ぶことができ、とても勉強になります。それは、これから社会へ出る私たちにとって必要なものだと思います。

その他に私たちには謡(能楽の詞章をうたうこと)のお稽古もしています。謡特有の雰囲気の中で、私たちが普段いる所から抜け出して、別の世界を味わうことができます。

興味のある方は、是非一度見学にきて、茶道の雰囲気を味わってみてください。

茶道部

部長 荒井 宏子

クラブ紹介

茶道部は月に三回木曜日に、松浜にある裏千家の先生の家でお稽古をしています。部員数は男子四名、女子八名です。

「茶道」というと決まりごとがありますが、みな

和氣あいあいと、とても和やかで落ち着いた雰囲気の中でお稽古をしています。

昨年の夏にはボランティアとして、老人

ホームでお茶会を開きました。また、大学

の「ふれあいバフェティ」ではお茶をふる

まいました。十一月の学園祭でのお茶会は、

無事成功裡に終わることができましたが、

その二週間後には学生交流茶会が開かれ、

そのためのお稽古を一生懸命行いました。

茶会が予定されていないお稽古では、主に

礼儀作法を教わっています。茶道というの

は、お茶のたて方だけではなくお道具の大

切さ、お客様に対する心使いの大切さ、水

屋(裏方)の仕事の有難さ、熱心に、親切

に教えてくださる先生方の有難さなどを感

じ、かつ学ぶことができ、とても勉強にな

ります。それは、これから社会へ出る私

たちにとって必要なものだと思います。

その他に私たちには謡(能楽の詞章をう

たすこと)のお稽古もしています。謡特有の

雰囲気の中で、私たちが普段いる所から抜け

出して、別の世界を味わうことができます。

興味のある方は、是非一度見学にきて、茶道の雰囲気を味わってみてください。

韓国からの訪問客

教務部長 山田 耕太

昨年十一月四日に、韓国から諸球煥さんと金孝錫さんが、在日大韓新潟教会の閔永基牧師、新潟信濃町教会の小淵康而牧師夫婦、日本キリスト教団新潟地区の壮年会代表の方々とともに本学を訪問されました。

韓国の教会関係者が、新潟地区的壮年会代表の方々とともに本学を訪問されたのは、一昨年に本学理事である小淵牧師と新潟地区的壮年会代表の方々が、ソウル市にある暁声教会を訪問して、日韓の草の根交流が深まつてきたことによります。

閔牧師は暁声教会から日本に派遣された宣教師で、新潟に住んで十年近くになります。諸さんは食品・化粧品会社の生活科学研究所の副所長で、暁声教会の宣教局長であります。金さんは野外テントを造る会社の社長で、同じ教会の北東アジア宣教総務部長です。

暁声教会は信徒数が五万人という世界でも折りの大教会で、五十四人の宣教師を世界中に派遣しており、キリスト教主義の女子校を経営し、これからキリスト教主義の病院経営も手がけようとしています。

北垣学長が一行をキャンパス・ツアーに案内した後に、キリスト教と教育委員会のメンバーも加わって昼食をともにしながら歓迎と交流の時をしばらく持ちました。その後、一行は敬和学園高校を訪問しました。これを機会に、本学園と韓国との交流がさらに盛んになり、深まつていくことを期待します。

一般入試が始まります

二〇〇〇年度の一般入試は、一九九九年度と同様に多様な尺度による入試制度を用意して実施します。また、編入学試験（第2次募集）も実施します。概略は次のとおりです。

一般入試試験（A日程 2科目型）

リスニング試験を含む英語と国語の二科目と調査書で合否を総合的に判定します。

一般入試試験（B日程 1科目型）

試験場で英語と国語の問題内容を確認してから、受験科目を選択できる一科目入試です。この入試では英語にリスニング試験を課しません。

一般入試試験（C日程 課題面接型）

提示された課題について質疑応答する面接試験です。

一般入試試験（センター入試）

センター試験の英語が必須、選択科目は国語 地歴 公民から一科目、他に調査書で合否を判定します。この入試による成績上位の入学者には、奨学金を支給します。

編入学試験（第2次募集）

短大卒業見込みの方などを対象に、小論文と面接により合否を判定します。

なお、A日程、B日程、センター入試は重複受験も可能です。

問い合わせ先 教務課入試係

フリーダイヤル〇一二〇一二六一三六三七
(入試委員会・入試室)

	入試区分	学科	募集人員	出願期間	試験日	合格発表	試験会場	試験科目・配点
一般	A日程：2科目型	英語英米文国際文化	各20名	1月7日(金) ～1月21日(金)	1月31日(月)	2月9日(水)	本学、新潟長岡、東京	英語(リスニング含む)100点、国語100点、調査書100点
	B日程：1科目型	英語英米文国際文化	各15名	1月7日(金) ～1月21日(金)	2月1日(火)	2月9日(水)	新潟	英語(リスニング含まず)、国語より1科目200点、調査書100点
	C日程：課題面接型	英語英米文国際文化	各5名	2月18日(金) ～3月6日(月)	3月11日(土)	3月17日(金)	本学	面接100点、調査書100点
	センター入試	英語英米文国際文化	各10名	1月7日(金) ～1月21日(金)	1月15日(土) 1月16日(日)	2月9日(水)		英語200点、国語、地歴、公民より1科目200点、調査書100点
	編入学(第2次募集)	英語英米文国際文化	若干名	2月4日(金) ～2月14日(月)	2月22日(火)	3月3日(金)	本学	小論文、面接

最終講義ご案内

今年度三月で六名の先生方が定年退職されます。各先生方の最終講義の予定は通りです。卒業生の皆さん、一般の方々を含め、数多くのご参加をお待ちしております。

伊藤豊治 教授

「ゴールディングの『通過儀礼』について」

一月十三日（木）午後二時四十分から

新発田館三十一教室

田原嗣郎 教授

「性悪説のすすめ」

一月十四日（金）午前十時四十分から

新発田館三十一教室

菅野浩 教授

「石油文明の未来」

一月十九日（水）午後三時から

大會議室

すでに最終講義を終えた先生方

片桐邦郎 教授

「忘れ得ぬ人々」十一月十日（水）

孫野義夫 教授

「学生列伝」十一月三日（金）

サンフォード・ゴールドスティーン教授

ご本人の希望で最終講義は行われません。

退職される先生を送る会のご案内

今年三月末をもって六名の先生方が定年退職されます。お世話になつた先生方に在学生、卒業生、教職員みんなで感謝の気持を表わしたいと考えています。卒業生で参加を希望される方は、電話で出席をお知らせください。退職される先生のゼミの卒業生、在学生には別途ご案内します。多くの方々の参加をお待ちしています。

日 時 二〇〇〇年三月二十四日（金）

受付 午後六時から

開宴 午後六時三十分から

新潟ワシントンホテル四階

【大和西】

会 費 卒業生 五千円
在学生 三千円

（当日会場でいただきます）

締切り 三月十日（金）

連絡先 ☎ 二五四一六一三六三六

定年退職される先生

田原嗣郎教授

伊藤豊治教授

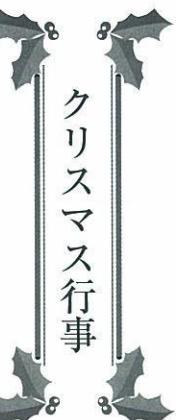
Sanford Goldstein教授

片桐邦郎教授

菅野 浩教授

孫野義夫教授

クリスマス行事



十二月十七日に恒例のクリスマス行事が行われました。午前十一時三十分から特別養護老人ホーム「二の丸」及び午後四時三十分からの県立新発田病院でのキャロリングでは、今年はじめてプラスバンド部が参加し、合唱部及び有志と共に練習の成果を発表することができました。

また、午後三時からは新発田館三十一教室において燭火礼拝、キャンドル・サービス、午後五時三十分からはクリスマス・パーティが行われ、卒業生も参加して、楽しいひとときを過ごしました。
翌十八日には、大学・高等学校合同クリスマスが高等学校のチャペルで行われ、大学から四十名の教職員が参加しました。
説教では北垣俊一副校長が、「過去、現在、未来のクリスマス」と題し、キリスト教に対する迫害の歴史及び十二月二十五日をイエス・キリストの誕生日とした経緯について話された後、戦争のない、皆が受け入れられる世となるよう祈りたいとのお話をありました。

また研修会では、三月で新潟教会から大阪の伊丹教会に移られる春名康範牧師（学園理事）が「対話への教育」と題し、北朝鮮に支援米を届けた際の様子や、ホームレスへの救済活動を通じ、いかに「対話」が大切であるかを話されました。（長澤）

証明書	手数料	発行日数
成績証明書	¥200	2日
卒業証明書	¥200	2日
単位修得証明書	¥200	2日
基礎資格・単位修得証明書	¥200	2日
その他の証明書	¥200	7日
英文成績証明書	¥200	7日
英文卒業証明書	¥200	7日
その他の英文証明書	¥200	7日

卒業生の皆さんへ

証明書の発行を希望する場合は、事務局窓口で直接申し込むか、郵送で申し込んでください。郵送の場合は、学籍番号、氏名、住所、電話番号、必要な証明書、必要枚数を明記のうえ、発行手数料（現金または郵便小為替）および切手を貼付した返信用封筒を添えて、教務課教務係に申し込んでください。
電話での申請は、一切受け付けておりません。

《郵送先》

〒957-8585 新発田市富塚1270番地
敬和学園大学 教務課教務係 宛

感謝 加藤 聰子

昨年九月末日をもって加藤聰子さん
(総務課会計係)が退職されました。
おつかれさまでした。

私が敬和学園大学で、お世話をなつてい
ましたのは僅かな間でしたが、思い出に残
る出来事がたくさんありました。
その一つに、待望の体育館と講義棟の増
築による校舎の完成があります。

さらに一九九七年十一月二十九日に献堂
式が取り行われ、大学の記念すべき歴史に
参加することができましたことを誇りに思
っております。

事務局において、敬和は学生・教職
員だけになり立っているものではないこと
を痛感します。

入学式などの式典一つを取りましても、
近隣の市町村の協力なしでは考えられませ
ん。

また、日々の業務において、敬和を支援
してくださっている方々、後援会を始めと
する諸団体、各地の教会、全国で活躍して
いる卒業生の存在を忘れるることはできませ
ん。

敬和学園が誕生するまでには、大勢の
人々の祈りと支援があり、そして長い苦難
を乗り越えながら、ようやく実現できたと
聞いております。

この様にして誕生した学園で働く場を与
えられたことを大感謝しております。
最後に、敬和学園に関わりのある全ての
方々のご健康と学園の益々の発展をお祈
り申し上げます。

寄付者ご芳名

一般

田村賢雄 野本寛子
東中通教会 新潟YMCA

皆川 靖
渡辺大知 下川 幹

千葉俊志
奈良橋健太郎 栗栖仲次

一九九二組 皆川聖子
一九九三組 広瀬雅子 齋藤豪芳

一九九四組 奈良橋健太郎
一九九五組 渡辺大知

一九九六組 皆川聖子
一九九七組 広瀬雅子 齋藤豪芳

学事予告

後期講義終了

一月 十八日 学年末試験（～二月十日）

二月 二十四日 一般入学試験（A日程）

三月 三十一日 一般入学試験（B日程）
春期休暇（～三月三十一日）

四月 一 日 後期講義終了

二日 十一日 一般入学試験（C日程）

三日 二十二日 卒業式

四日 三十一日 学年終わり

五一日 入学式

二日 学年始まり

一日 新入生歓迎公開学術講演会

一日 前期授業開始

FROM CAMPAS

キャンパス日誌

1999年
10月

- 1日 チャペル・アッセンブリー・アワー⑭
説教 北垣宗治 学長「超越について」
- 8日 チャペル・アッセンブリー・アワー⑮
説教 高橋稔 中条教会牧師・学園理事
「出会いの不思議・夢をもってやってみよう」
- 13日 教授会
- 15日 チャペル・アッセンブリー・アワー⑯
説教 延原時行 宗教部長「人生の逆転と信仰」
講演 佐竹昭臣
新潟大学教育人間
学部長(写真)
「人間とは何か」
という問い合わせについて
新発田市公開講座⑤
講師 房文慧 助教授
「半封建・半殖民地経済からの改革
開放・市場経済への中国」
- 17日 英語技能検定試験
- 22日 チャペル・アッセンブリー・アワー⑰
説教 延原時行 宗教部長
「イエスのイメージ・トレーニング」
夏期短期留学報告『私の留学体験』
学生 古澤尚子、樽木恵、山口力
新発田市公開講座⑥
講師 佐藤涉 助教授
「フランスにおける世紀末」
- 23日 帰国子女・社会人・編入学試験(第1次募集)
- 27日 教授会・人事教授会
- 29日 チャペル・アッセンブリー・アワー⑲
説教 春名康範 新潟教会牧師
「僕には関係ないこと…と思っていた」
新発田市公開講座⑦
講師 岩倉依子 助教授
「19世紀末ドイツの
国家と社会」(写真)
聖籠町聖山大学
30名見学



11月

- 4日 文部省学校法人調査委員会実地調査
韓国暁声教会 3名来学
- 5日 ブレ敬和祭特別フォーラム
講師 志茂望信氏
「日米交流と21世紀のミッション」
新発田市公開講座⑧
講師 松崎洋子 教授「19世紀末アメリカの悪夢」
- 6日 第9回敬和祭(～7日)
- 10日 敬和フォーラム⑯
講師 片桐邦郎 教授「忘れ得ぬ人々」

- 12日 チャペル・アッセンブリー・アワー⑲
説教 三村修 佐渡教会牧師
「主の恵みの年」
学校法人敬和学園中・長期計画検討委員会
第8回学生リトリート(～13日)
テーマ「地球文明の形成とスピリチュアリティ」
(学生と教師とともに語り合う)

- 15日 理事会
- 16日 県議会総務文教委員会視察(13名)(写真)



- 19日 チャペル・アッセンブリー・アワー⑳
説教 矢嶋直規 専任講師
「互いに愛しあいなさい」
講演 渡辺好政 岡山大学医学部客員教授
「わたしの青春・あなたの青春」
企業との就職懇談会(ホテル新潟)
推薦入学試験
- 24日 臨時教授会・人事教授会
- 26日 チャペル・アッセンブリー・アワー㉑
説教 内藤暁 北陸学園短期大学宗教主事
「あなたのコンプレックスは何ですか」
- 30日 献血

12月

- 1日 敬和フォーラム⑭
講師 中村義実 専任講師
「リベラルアーツに根ざす
コミュニケーション教育」
- 2日 推薦入学試験合格発表(写真)
- 3日 チャペル・アッセンブリー・アワー㉒
説教 延原時行 宗教部長
「人生の意味」
講演 孫野義夫 教授
最終講義「学生列伝」
- 10日 チャペル・アッセンブリー・アワー㉓
説教 延原時行 宗教部長「ヨセフの決心」
講演 原田恵津子氏(JICA専門家)
「ラオス・ボランティア物語
私の国際ボランティア」
- 15日 教授会
- 17日 クリスマス行事
- 18日 大学・高校クリスマス合同研修会
- 24日 冬期休暇(～1月7日)

2000年
1月

- 8日 講義再開